

避難所運営ゲーム（ペット飼育版）について

1. ゲームの概要

このゲームのベースになる「避難所(H)運営(U)ゲーム(G)」とは、避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶことを目的に、一般住民向向け普及啓発ツールとして静岡県で開発されたシミュレーション型訓練ゲームです。

1 グループ5～6名で構成されたチームが、避難所運営を任されたという想定の下で、次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応することをワークショップ形式で体験していきます。

ゲームで使用する250枚のカードには、避難者の年齢、性別、国籍や、それぞれが抱える事情、状況などのステータスが記されているカードと、避難所で起こる出来事が記されているカードがあります。

避難所に次々とやってくる避難者を、一人ひとり、家族単位、グループ単位の事情と避難所運営上のニーズに従い、避難所のどこに割り振りするかを決めていく中、突如生じるイベントにどう対応していくかをチームで考えていきます。

ゲーム参加者は、このゲームを通して避難所運営に必要な判断力や被災者のニーズ、臨機応変に対応していくことの必要性を学び、大規模災害の避難所がいかに混乱している状況なのかを模擬体験することができます。

「避難所(H)運営(U)ゲーム(G)」の手法をベースとした「避難所ペット飼育版ゲーム」では、被災者対応で混乱する避難所運営において、ペット飼育者への対応の負担を軽減するために、飼い主同士で協力し助け合い、避難所内でのペット飼育環境を整えていくことを目指します。

2. 到達目標・効果

1) 参加者別

飼い主	①	避難所でペットを飼育するにあたり必要な事柄を、ゲームを通して見出す (必要な事柄が見つけれれる)
	②	生じた状況に対応するため、各々役割分担をして飼い主同士が協力し合う (必要な役割が見つけれれる)
	③	他の飼い主とペットをとりまとめ、協力者を募り共助を広げていく (コミュニケーションが図れる・災害弱者をサポートする)
	④	進行に際し、避難所運営にかかる負担を軽減し、ペットに関することは飼い主が積極的に 対応・解決することを意識する
	⑤	他の避難者（特にペットが苦手な方やアレルギーなど健康上の理由を持つ方）に配慮する
	⑥	集団生活の中での飼育に際し、避難所内を一つの地域社会として適切なルール作りが行える ・飼育管理上のルール ・避難所内の社会ルール
	⑦	避難所運営本部と連携していく必要性を理解する
	⑧	入手できる資材で工夫できる。必要な資材を見出す
	⑨	経時的な変化に対応できる（ペット飼育スペースの運営等について）

避難所運営関係者	①	避難所にペット同行者が避難してきた場合に、飼い主同士の共助によるペット飼育管理に誘導することで、被災者対応が整理されることを確認 (ペット飼育者避難所受入れ不可による二次災害の発生を防ぐ)
	②	ペット飼育者と連携することで、避難所運営に必要な人材確保につながることを確認
	③	ペット飼育者がペットを管理することにより、避難所内でのペットに起因するトラブル発生を防ぐ(ルール作り)
	④	ペット飼育スペースを活用することにより、被災者の安全と安心が確保できることを確認
自治体	①	飼い主同士が助け合うことで、自治体が被災状況を確認した後、動物救護活動を開始するまでを補う共助の体制を作る
	②	避難所内の被災飼い主と被災動物に関する状況把握、情報収集の一助となることを確認
	③	動物を飼育している要援護者の状況確認と、避難者間の共助で救援活動開始までのケアを図る
	④	飼い主が協力し動物の飼育管理を行うことで、避難所内での動物救護ボランティアの活動による混乱防止を図る
	⑤	市町村・避難所に対し、飼い主同士が助け合い避難所運営を補助することで、動物に起因するトラブルを防止し、かつ動物同行避難者が公平に災害支援を受けられることを伝える

3. 用意する物

- ・避難所の見取り図 A2
- ・ペット飼育スペースを想定した A4 白紙の用紙
- ・状況設定の説明書 A4 またはパワーポイントで説明
- ・環境設定の説明書 A4 またはパワーポイントで説明
- ・発表内容のリスト A4 またはパワーポイントで説明
- ・名札用シール
- ・筆記用具

ボールペン・マーカー

鉛筆・消しゴム 等

- ・ポストイット(角型2色程度)

① 資材カード

ブルーシート6畳サイズ

ビニール紐

ガムテープ

紙

マジック

段ボール

新聞紙

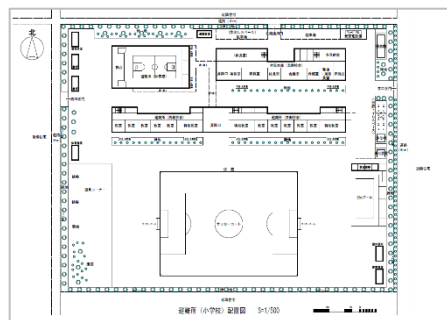
② イベントカード(出来事等)

運営本部からの指示等

動物や飼い主に関する出来事

避難所の事情による出来事

③ ペット同行避難者カード(40枚)



①資材カードや②イベントカード、
③ペット同行避難者カードは、メモ
用紙やポストイットを用意し、その
場で記入する方法もあります。
みなさんでコンテンツを変えたり、
増やしたりしてください。



①



②



③

4. シナリオとゲームの進め方

- ゲーム時間 60 分～90 分
- 1 チーム 6 人～8 名程度
- 進行 1 名：シナリオの読み手
- 本部役 1 名：資材カード・イベントカード・ペット同行避難者カードを配布。
イレギュラーイベントの提示。
配布するイベントカードは難易度に合わせて調整(ステータスの変更等)。

＜ゲーム開始までに参加者がしておくこと＞

- 1) シールに名前を書き胸に貼る

5. おわりに

この避難所でのペット飼育シミュレーションゲームは、これが完成形ではありません。

この他にも「こんな状況が生じたらどうしよう？」と思うイベントを追加していき、地域オリジナルのシミュレーショントレーニングを、できるだけ繰り返してください。

平時からの心の準備は、発災時の落ち着いた行動、的確な判断に結びつきます。

そして、避難所の中だけに支援を求めるのではなく、避難所外にも目を向けましょう。

近隣に目を向ける、自宅に目を向ける、外部と交渉するなど、緊急事態を切り抜ける方法はたくさんあるはずです。

また、「避難生活の様々なスタイル」を応用し、一つの形にとらわれず、人と動物の福祉に配慮した、様々な避難方法を見つけていきましょう。

入手できる物で工夫する。代用品を探してなんとかしのぐ。

「あれがあると助かるのに…」と思うことが、平時の準備につながっていきます。

協力する、助け合う、知恵を出し合う、話し合う。

このシミュレーションゲームが、「自分たちの力で災害を乗り越える」一助となることを願っています。

NPO 法人アナイス